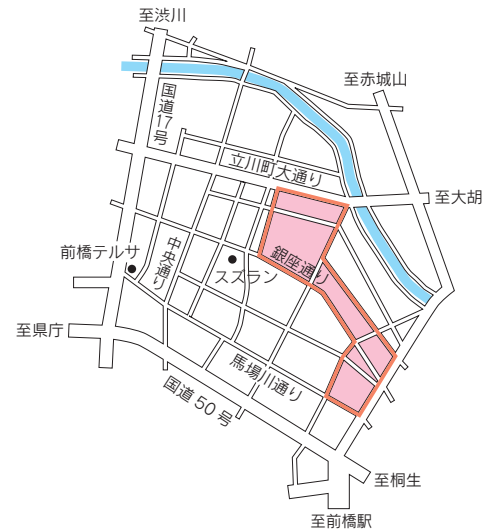


榎町

Enoki-machi



大正時代の銀座通り



おじちゃん：今日は榎町に行ってみよう。

ボ：ク…なんて読むの？

おじちゃん：「えのきまち」と呼ぶんだよ。

ボ：ク…いつからこの町名があるの？

おじちゃん：江戸時代からあるんだけど、

江戸初期は天川原村と言っていたんだよ。

ボ：ク…今はどこになるのかなあ。

おじちゃん：榎町は今の銀座二丁目通り商店街界隈だね。

ボ：ク…なんでそういう町名になったの？

おじちゃん：以前、千代田通りの角にあった、みやま会館の南側に抱えきれぬほど大きな榎の樹があったから、榎町って付けたそうだよ。以前訪ねた紺屋町一带と同様、この付近も利根川が流れていて、河原には葎(あし)が生え、陸地の安定したところには灌木も生えはじめ、そんな大地に榎の樹も生育していったのだろう。そして、



銀座通りの一角に安置されている延命地藏

その榎の樹が明治40年頃まで残っていたよ。うだよ。

ボ：ク…そういった自然環境から地名が付いたところってあるよね。

おじちゃん：まちに住む人は、この榎の樹が一つの目印の樹となっていたのだろう。そして、まちのシンボルであり、また今というランドマークだったのだろう。

ボ：ク…その当時は、当たり前だったのだろうけど、今思うと、地名とまちに住む人の生活が密着していたような気がするよ。

おじちゃん：ボクの言うとおりだよ。

ボ：ク…当時の榎町だった様子を見てみたいよ。おじちゃん：東和銀行東側通りは縁切坂といって、そ



大正9年に創設された「大和劇場」

ボ

の坂下に清らかな井戸があったそう。井戸の傍に梅の木があって、その芳香が井戸の水に移ったそうで、また、井戸の噴き出る水のさまが梅の花の形に見えたそう。梅の井と呼ばれる井戸として名所になったそう。この名をとって梅の井という寄席があったんだ。浪花節や義太夫、落語、琵琶などが上演され、人々を楽しませてくれた劇場だったんだ。

ク

そういえば、ボクが小さい頃、このまちに映画館があったよ。

おじいちゃん

実は榎町は映画館のまちだったんだよ。明治43年の共進会が終わった後、県下最初の映画常設館として、みやこ会館というのが開館したんだよ。その後オリオン座になったんだよ。その他、大正8年に前橋活動写真館、大正9年に大和劇場ができ、当時のまえばしの二大娯楽施設

ボ

だったんだよ。映画を中心に演劇、浪曲などがかけられていたようだ。当時の映画の集客力は大きかったので、榎町や周辺のまちには、直接的にも間接的にも大きく貢献したんだね。このような映画館があるまちの中で、陽が暮れると、先日訪ねた紺屋町、横山町と並んで、三ヶ町と呼ばれる歓楽街の様相を呈し、特に紺屋町同様、花街であり花柳界のまちであつたんだよ。

ク

榎町も昼夜問わず、活気のあるまちだったんだね。ところで、榎町の鎮守様は何なの？

おじいちゃん

あるまちの人が所有する地所の竹やぶか

ボ

らお地藏さまが出てきたんだ。このお地藏様を榎町にあつた明聞寺に預け、まちの発展と町内の人の長寿を祈り、お祭りを行っていたそう。このお地藏さまは延命（えんめい）地藏尊とよばれ、長寿をかなえてくれるお地藏様として榎町の鎮守様となったんだ。その後、太平洋戦争後、この地藏尊を町内の中央部に移せば、参詣者も増え、またまちの活性化につながるのであろうという事で、榎町にあつた政淳寺に移したんだ。その後、明聞寺は富士見村へ移転し、また、昭和47年にニチイデパートの進出により、政淳寺は、このお地藏さまと一緒に田口町へ移転したんだ。今は、このニチイデパートはなくなり、有料駐車場になっていて、その東隣りには平成13年にリニューアルされた銀座公園があるね。

ク

その後、お地藏さまはどうなったの？

おじいちゃん

今は銀座二丁目通りの一角に安置されているよ。

ボ

今は竹やぶはないけど、お地藏さまは元のまちに戻ったんだね。そして、今まちの人の長寿を願い、見守っているんだと思うよ。

ク

おじいちゃんもおじいちゃんもそう思うよ。

ボ

それにしても、まちの由来となっている榎の樹を、まちのシンボルとして、ランドマークとして、まちのどこかに植樹できないものかなあ。

ク

では、次回は立川町に行ってみよう。

おじいちゃん

では、次回は立川町に行ってみよう。

立川町

Tatekawa-cho



昭和 20 年代の弁天通り



ボ おじちゃん：今日は立川町に行ってみよう。

ク ..なんて読むの？

ボ おじちゃん：「たてかわちょう」と呼ぶんだよ。

ク ..いつからこの町名があるの？

ボ おじちゃん：江戸時代からあるんだけど、江戸初期は前代田村と言っていたんだよ。その後、明治初年頃までは板屋町と言っていたんだよ。近くに広瀬川が流れていて、材木の輸送に便利だったところから、屋根を葺く割材や材木業者が集まり住んだところだったようで、昔は、茅葺（かやぶき）屋根の家が多い中、ここは、このような人々が住んでいたこともあり、板屋屋根の家が多く、先端をいく家屋の集まりであったようだ。そして、明治6年から板屋町を改称して立川町になったんだよ。

ク ..今はどこになるのかなあ。

ボ おじちゃん：立川町は今の立川町大通りや弁天通り界隈だね。

ク ..今も通りの名前が残っているんだね。ところで、なんでそういう町名になったの？



熊野神社参道にあった劇場「前橋座」

ボ おじちゃん：今の立川町大通りの真中を当時は村落風に清流が流れていたところから、立川町って付けたそうだよ。

ク ..今のまちの風景とは想像がつかないけど、のどかなまちだったんだね。その後の立川町だった様子を見てみたいよ。

ボ おじちゃん：昔、製糸業が盛んだった頃、繭（まゆ）市場が開かれ、繭市場通りとも言われて大小の繭糸商が軒を並べ、生糸のまちの情報がいっぱいあった。また、立川町大通り界隈は徐々に色々な商店が建ち並んだ商人のまちになっていったんだよ。農機具製造、馬具製造、箆（ざる）製造、帳簿製造などの商店があったんだけど、今はほとんど、そういった商店はないね。ただ、昔の箆製造の商店が存続しているよ。店が通り沿いに二つ残っているよ。時代が流れて、昭和36年に立川町大通りは両



大正初期の立川町通り
中央 2 階建ては大川屋本店、奥の洋館は前橋電気館



昭和 30 年代初め頃 (詳細不明) の立川町通り
祭りの山車を町衆が囲む

ボ

ク

側の歩道に、県内最初のアーケードを完成したんだよ。弁天通りは中心商店街の北の玄関口として昭和 43 年にアーケードが完成されたんだよ。まえばしで初めての洋食屋として大正 9 年に創業したポンチというお店が、弁天通りの北角にあるよ。以前は先日訪ねた榎町にあったんだよ。

おじいちゃん

熊野神社と言うんだけど、出雲国八束熊野より分社したんだ。古来よりこの辺りは杜(もり)であって、熊野の森と言われ、まちの人たちからは、おくまん様と呼ばれているよ。この神社の東には、明治期に敷島座というのがあって、明治色豊かに、ずい分と町内を明るくしていたそうだよ。その後、明治 40 年、熊野神社参道に創設された前橋座という劇場があったよ。大正 2 年に前橋電気館と改名し、映画館となったんだよ。今までの劇場と違い、土足で二階まで上げられるということ

ボ

ク

で評判となったんだよ。

おじいちゃん

立川町には妙安寺と大蓮寺の二つの名刹であるお寺がある。妙安寺は、浄土真宗の寺院で、親鸞聖人の弟子成然によって開基され、前橋城主酒井重忠の要請により開山されたという古い歴史を誇るん

ボ

ク

だ。大蓮寺は、浄土宗の寺院で、昔、前橋城を守護するために鬼門にあたる場所として、今の臨江閣付近に建立されたんだ。その当時、このあたりは利根川が入り江のようになって流れ、増水の時にはうずを巻くため、虎ヶ淵と名付けられ、大蓮寺の山号はそのため虎ヶ淵にちなんで虎淵山と称したんだ。この増水により、利根川の氾濫が年々増し、洪水により虎ヶ淵のがけが次第に崩れ、虎ヶ淵の決壊により城下町に危険さえ感じられたため、前橋城主酒井重忠は虎ヶ淵の守護と城下町の安全を願い、大蓮寺へ弁財天を祀ったんだ。

ボ

ク

そういえば、弁財天様は水の神様なんだよね。

おじいちゃん

そうだね。もとは川の女神でもあるんだよ。その後、とうとう、お堂も危険にさらされたため、大蓮寺は、この弁財天と一緒に立川町へ移転したんだ。

ボ

ク

あれ？弁天通りって、弁財天様を祀ったことから付けられたの？

おじいちゃん

そのとおりだよ。今もお堂の中に弁財天が祀られていて、大蓮寺の縁日に当たる毎月 3 日に開催されている弁天ワッセは盛大だよ。

ボ

ク

町名は消えてしまったけど、昔からあるお店が残っていたり、今でも立川町大通りと弁天通りの名前が残っているし、美しい弁財天様も祀られていて、ボクとしてはうれしいよ。

おじいちゃん

では、次回は萱町に行ってみよう。